

改訂化学の新演習 正誤表 1刷用

【注】「電子(電)吸引(性・力)」「電子(電)求引(性・力)」は、どちらの表記も存在しますが後者がより適切と判断して修正しました。数が多いので正誤表には入れていません。

ページ	問題番号など	訂正前	訂正前(備)	訂正後(正)
本冊 14	21 (2)	---	(文末に追加)	ただし、O原子は3個のTi原子に正三角形の頂点方向から取り囲まれているものとする。
本冊 24	42 (4)	1行目	存在割合が2番目に少ない	存在割合が3番目に多い
本冊 30	---	(ページ欄外)	$10 < \sup > - 3 < \sup >$	$10 < \sup > 3 < \sup >$
本冊 32	---	(ページ欄外)	$10 < \sup > - 3 < \sup >$	$10 < \sup > 3 < \sup >$
本冊 34	---	(ページ欄外)	$10 < \sup > - 3 < \sup >$	$10 < \sup > 3 < \sup >$
本冊 36	63 (3)	---	(文末に追加)	(気体定数 $R < \sup > = 8.3 \times 10 < \sup > 3 < \sup > \text{Pa} \cdot \text{L} / (\text{K} \cdot \text{mol})$) とする。))
本冊 46	84 (6)	1行目	(nm)	(cm)
本冊 48	87	22行目	混合物(共晶)のみが析出する	混合物(共晶)のみと一緒に析出する
本冊 48	87	25~26行目	すべて固体で、氷と $\text{NaCl} \cdot 2\text{H} < \sup > 2 < \sup > \text{O}$ の含水塩が共存する範囲であり、 $\sim \text{NaCl} \cdot 2\text{H} < \sup > 2 < \sup > \text{O}$ の含水塩と共晶の共存する範囲である。	すべて固体で、氷と共晶の含水塩が共存する範囲であり、 $\sim \text{NaCl} \cdot 2\text{H} < \sup > 2 < \sup > \text{O}$ の含水塩と共晶の共存する範囲である。
本冊 69	128 (5)	2行目	相対温度	相対温度
本冊 70	129	反応式の左辺	$+ \text{K} < \sup > + < \sup >$	+ KOH
本冊 70	129 (1)	---	(冒頭に追加)	①の化学平衡の平衡定数 $K < \sup > = \frac{[\text{K} < \sup > \text{C} < \sup >]}{[\text{K} < \sup >] [\text{C} < \sup >]}$ は、次式で表すことができる。 $K < \sup > = \frac{([\text{18-クラウン-6} \cdot \text{K} < \sup >] + [\text{K} < \sup > \text{錯体}])}{([\text{18-クラウン-6}] [\text{K} < \sup >] + [\text{錯体}])}$
本冊 71	131 (4)	1行目	$\text{NH} < \sup > 4 < \sup > \text{Cl}$ 水溶液100mLを	$\text{NH} < \sup > 4 < \sup > \text{Cl}$ 水溶液150mLを
本冊 84	157	14行目	$[\text{CO} < \sup > 3 < \sup >] < \sup > 2 < \sup >$	$[\text{CO} < \sup > 3 < \sup >] < \sup > 2 < \sup >$
本冊 86	160 (2)	---	$2\text{Cl} < \sup > 2 < \sup >$	$\text{Cl} < \sup > 2 < \sup >$
本冊 100	185	10行目	(気体定数の式の後に追加)	、ファラデー定数 $F < \sup > = 9.65 \times 10 < \sup > 4 < \sup > \text{C/mol}$
本冊 103	189	1行目	9.6	9.65
本冊 104	190	8行目	$< \sup > E < \sup >$	(削除)
本冊 104	190	9行目	また、2つの金属の	また、任意の2つの金属の
本冊 104	190	15行目	1mol/Lの場合の値であり、	1mol/Lの場合の値(これを標準起電力という)であり、
本冊 104	190	20行目	() 内に追加)	$< \sup > E < \sup >$: 起電力、 $i < \sup > E < \sup >$: 標準起電力
本冊 104	190	表左列	Hz	$\text{H} < \sup > 2 < \sup >$
本冊 104	190	表右列	標準電極電位 $< \sup > E < \sup >$	標準電極電位
本冊 104	190	表下	$< \sup > E < \sup >$ の高い金属ほど	$< \sup > E < \sup >$ の値が高い金属ほど
本冊 104	190 (1)	1行目	次の電池の起電力	次の電池反応の起電力
本冊 113	205 (問)	4行目	Si=24	Si=28
本冊 151	267 [B]	Dの構造式	(右側のOHとH)	(位置を入れ替える)
本冊 211	364	2行目	単量体は	単量体bは
別冊解答	2	1 解説(4)④	全文	同族元素のイオン半径は、原子半径と同様に説明できる。同周期元素では、ふつう1, 2, 13族元素はその周期の1つ前の周期の貴ガスの電子配置をもつ陽イオンになるので、この順にイオン半径は小さくなる。16, 17族元素はその周期の貴ガスの電子配置をもつ陰イオンになるので、この順にイオン半径は大きくなる。つまり、原子番号とイオン半径は一定の傾向を示さない。
別冊解答	17	21 解説(2)	1行目	平面状に取り囲む
別冊解答	29	42 解答(4)	---	2.6%
別冊解答	29	42 解説(4)	1~6行目	2番目に存在割合の少ない $\text{BCl} < \sup > 3 < \sup >$ 分子は、存在割合の少ない $< \sup > 10 < \sup > \text{B}$ を含む。(3)の考察より、③と④では、 $0.76 \times 3 > 0.24$ より、③>④。よって、2番目に存在割合が少ないのは、 $< \sup > 10 < \sup > \text{B} < \sup > 35 < \sup > \text{Cl} < \sup > 37 < \sup > \text{Cl} < \sup > 2 < \sup >$ である。その存在割合(%)は、 $0.20 \times 0.76 \times (0.24) \times 3 \times 100 = 2.64$ (%)
別冊解答	70	102 解答(3)	---	7.0 (cm)
別冊解答	70	102 解説(3)	5~6行目	$(0.500/80) : (0.400/40) = 4.40 : z$ $\therefore z = 7.04 \approx 7.0$ (cm)
別冊解答	106	157 解答イ	---	$2.0 \times 10 < \sup > - 6 < \sup >$
別冊解答	107	157 解説(ii)	8行目	$1.21 \times 10 < \sup > - 2 < \sup >$
別冊解答	107	157 解説(ii)	9行目	$2.01 \times 10 < \sup > - 3 < \sup >$
別冊解答	113	164 解説(1)	4行目の反応式右辺	$\text{O} < \sup > 2 < \sup > + \text{H} < \sup > 2 < \sup >$
別冊解答	129	187 解説(6)	7行目	405
別冊解答	131	190 解説(1)	6・19行目	電池反応
別冊解答	131	190 解説(2)	5行目	電池反応
別冊解答	131	190 解説(3)	2行目	希釈直後は
別冊解答	131	190 解説(3)	13行目	この電池の反応式は
別冊解答	131	190 参考	3・5行目	電極電位
別冊解答	131	190 参考	0	この電池反応のイオン反応式が
別冊解答	140	200 解答(3)(b)	---	黒褐色
別冊解答	141	202 解答(3)	2~5行目	NOだけでなく $\text{H} < \sup > 2 < \sup >$ も発生する。さらに、NOは $\text{H} < \sup > 2 < \sup >$ によって還元される反応も同時に進行するので、NO, $\text{N} < \sup > 2 < \sup > \text{O}$, $\text{N} < \sup > 2 < \sup >$ などの混合気体が発生すると予想される。
別冊解答	151	216 解答(4)	---	10.2
別冊解答	152	216 解説(4)	8行目以降	(差し替え) $\therefore [\text{OH} < \sup >] = 2x = (2/4) \times 10 < \sup > - 11/3 < \sup > = 2 < \sup > - 11/3 < \sup >$ $\text{pOH} = -\log < \sup > [\text{OH} < \sup >] = -\log < \sup > (2 < \sup > - 11/3 < \sup >)$ $= 11/3 - 2/3 \log < \sup > 2 = 3.47$ $\text{pH} + \text{pOH} = 14$ より $\text{pH} = 14 - 3.47 = 10.53 \approx 10.5$
別冊解答	188	254 解説	左段6行目	(2)
別冊解答	188	254 解説	右段13行目	(削除)
別冊解答	211	276 解説	10行目	(3)
別冊解答	230	299 解答(2)	---	アセトンが生成する
別冊解答	231	299 解説(2)	反応式の説明文	グリブタル樹脂(アルキド樹脂)
別冊解答	302	369 解答(2)	---	グリブタル樹脂 2) $2\text{R} - \text{SO} < \sup > 3 < \sup > + \text{CaCl} < \sup > 2 < \sup > \rightleftharpoons (\text{R} - \text{SO} < \sup > 3 < \sup >) < \sup > 2 < \sup > \text{Ca} + 2 \text{HCl}$, 0.2mol/L

<</>で囲まれた部分は以下のような文字です
 下線 <u></u>
 イタリック <i></i>
 太字
 上付き
 下付き